

# 西の湖へのワタカ種苗放流結果

根本 守仁

## ◆背景・目的

ワタカの水草植生を利用した水草大量繁茂の抑制、および生態系の保全を目的として、琵琶湖固有種であるワタカの種苗を西の湖へ放流した。

## ◆成果の内容・特徴

- ・種苗生産は、250,000尾の生産を目標に実施した。
- ・採卵は、自然産卵により行い、平成17年7月20日に424,200尾、8月21日に209,400尾、合計633,600尾のふ化仔魚を得た。
- ・7月20日分のふ化仔魚は、初期生産として飼育池内の網イケスで8月26日までの37日間飼育した。生残尾数は318,600尾であり、生残率は75.1%であった。その後、40㎡の屋外池2面に放養して3月24日まで飼育したが、取り上げ時点での尾数は318,600尾であり、生残率は95.0%、平均体重は0.34gおよび0.47gであった。
- ・8月21日分のふ化仔魚については、40㎡の屋外池1面に直接放養して3月24日まで飼育した。取り上げ時点での尾数は29,400尾であり、生残率は14.0%、平均体重は0.33gであった。
- ・放流結果については、下表に示した。平成18年3月24日に332,200尾を西の湖へ放流した。なお、放流したワタカすべてにALC標識を施した。

## ◆成果の活用・留意点

過年度に放流したワタカ標識種苗が西の湖や琵琶湖で再捕されてきており、今後は、詳細な標識魚の追跡調査を実施することが重要である。

表 ワタカ種苗放流結果

No.	尾数(尾)	重量(kg)	平均体重(g)	標識
1	29,400	9.88	0.337	ALC(SR)
2	142,800	49.14	0.344	ALC(リング)
3	160,000	75.95	0.475	ALC(リング)
合計	332,200	134.97		